

全労金2014春季生活闘争ニュース・第3号

単組の要求概要と団体交渉における金庫の所感、 単組闘争委員長の決意、青年層役員からの檄を紹介します！

昨日（5日）は、全労金2014春季生活闘争方針に基づく「統一要求提出日」で、全14単組が金庫・関連会社との団体交渉において一斉に要求を提出し、実質的な闘いがスタートしました。

全労金2014春季生活闘争は、「安定雇用」「公正処遇」「生活改善」に関する到達基準を定め、単組の進捗状況等を踏まえた要求内容としていますが、全労金組織における共通の課題を実現するためには、全労金と単組が一体となった闘いを進めることが重要です。

全労金は、中央闘争委員会で、2014春季生活闘争の取り組みとして、「単組の要求内容」とあわせて、「単組闘争委員長の決意」「青年層役員の檄」を取りまとめ、すべての組合員で、全単組の要求内容を共有することとしています。

本号以降、3月14日まで7回にわけて単組からの報告に基づき発行しますので、職場集会等での共有をお願いします。今回は、北海道・東北労組の要求内容等を紹介します。

◆ 北海道労組

《要求内容》

- 「安定雇用」に関しては、2013年4月から、3年を経過したすべての準職員・契約職員を対象に「期間の定めのない雇用契約」としているため要求しない。
- 「基本賃金」は、すべての職員における定期昇給の実施を求める。なお、2013年4月から、「準職員制度の制定」「契約職員の処遇改善」を実施する中で、月例賃金の改善、手当支給月数の上乘せ等の基本的な賃金項目における改善が図られていること、及び、「人事・賃金制度の見直し協議」を予定しているため、賃金引き上げの要求は見送った。
- 「年間一時金」は、正職員・準職員・契約職員を対象に昨年実績で要求。
- 「退職金制度」は、準職員・契約職員を対象に制度化を要求。なお、2013年4月から、準職員・契約職員の共助会への加入とあわせて、会員としての退職金別給の実現しているが、退職金制度の新設に向け、引き続き要求することを判断した。
- 単組独自要求に関しては、仕事と生活の両立支援の促進、女性の就業継続率の向上、ワークライフバランスの観点から、正職員・準職員・契約職員を対象に、「年次有給休暇積立制度」の確立を要求。

《団体交渉における金庫の所感》

経営として、誠意を持って対応したい。当庫を取り巻く環境・情勢、並びに、経営実態については、経営協議会やその他の機会を通じて話しており、ここでは繰り返さないが、いずれも、客観的な事実として、理解しているものと考えている。仮に双方の認識に違いが生じるようであれば、共通の理解に至るよう努力したい。引き続き、率直な意見交換をしていきたい。労使関係は対立を前提としたものではないが、自ずと立場の違いがある。お互いの立場を尊重しながら、具体的なテーマについて、納得度の高い合意点を探ることが重要だと考えている。労使関係は長く続くため、中長期の展望を持ちながら知恵を出し合っていきたい。

《単組闘争委員長の決意》

【榎田執行委員長】

本部執行部による全道オルグを経て、第3回中央委員会(2月22日)において、全組合員の総意で「北労金労組2014春季生活闘争方針」を確立しました。以降、掲げた要求を勝ち取るまで、真摯な交渉を重ねていきます。

本春闘において大切なのは、全組合員の総意で掲げた要求にこだわりをもつことです。そのためには、要求の背景や主旨・交渉の経過を全組合員で共有することが重要です。

北労金労組闘争委員会は、上述した営みを大切にしながら、全道の組合員・全国の仲間と共に、最後まで粘り強く闘い抜くことをここに誓います。

全国の仲間の心をひとつに！ 共に頑張りましょう！！

《青年層役員の檄》

【北海道労組の仲間へ：東北労組／宮聡美青年副部長】

私は、北海道労金労組2014春闘方針の嘱託等組合員の処遇改善に関する要求に共感します。現行の制度では、同じ職場で働く仲間でありながらも、雇用形態によって賃金や休暇制度等の格差が生じており、憤りを感じます。労金業態でも嘱託等職員の割合が増えていく状況のなかで、すべての働く仲間が健康で安心して働き続けられるように諸制度を改善していかなければなりません。

特に、嘱託等組合員の退職金制度の新設については、東北労金労組としても今春闘において要求している項目であります。

嘱託等組合員の公平・公正な処遇改善のため、安定雇用の実現のため、そして、すべての働く仲間の生活を改善できるよう、要求書提出から回答期限日まで、全組合員一致団結して、粘り強く闘い抜きましょう。

◆ 東北労組

《要求内容》

- 「安定雇用」に関しては、2013春季生活闘争における交渉経過を踏まえ、2014年上期の解決を目途に、正職員・契約職員の人事・賃金制度の協議を進めているため、この中で実現することが現実的と判断した。ただし、関連会社に関しては、「無期転換権の付与」を要求。
- 「基本賃金」は、①準職員・契約職員は、定期昇給＋2,000円の引上げ、②関連会社のすべての職員を対象に、金庫における契約職員の定期昇給相当分＋2,000円の引上げ、を要求。
- 「年間一時金」は、「格差是正」「公平・公正処遇の実現」を最優先課題とし、①正職員・準職員は昨年実績、②契約職員は現在の支給額＋1.0ヵ月、③関連会社の正社員は昨年実績＋0.2ヵ月、④関連会社の契約社員・ビル管理社員は金庫における契約職員と同月数、を要求。
- 金庫における「退職金制度」、並びに、「諸休暇・福利厚生制度」等は、人事・賃金制度協議の中での協議事項としているため、要求は見送った。
- 単組独自要求に関しては、関連会社のすべての職員を対象に、「年次有給休暇」について、金庫における正職員と同様の扱いとすることを要求。

《団体交渉における金庫の所感》

まずは、システム移行にあたり、職場で奮闘されたことに感謝したい。会員労働組合が減少する中で労金運動を進めているが、本意ではないが市中銀行と競争していかなければならないことも事実としてある。職員の安定雇用や労働条件の改善のためには、収益基盤の安定を図らなければならない。収益改善案の共有と労金運動の強化が、いま問われている。全役職員が一体となって労金の存在をいかに強めていくかが課題である。

新人事・賃金制度もしっかり協議していただき、皆が納得する制度をつくりあげて欲しい。回答については今後の検討だが、金庫の厳しい現状についても理解して欲しい。

《単組闘争委員長の決意》

【末留執行委員長】

私たち東北労組は、闘いの基調を、①連合方針ならびに全労金方針を踏まえ、処遇の改善を求める、②ワークライフバランスのとれた働き方を実現し、安心して働き続けられる職場をめざす、③新たな仲間づくりを進め組織強化を図る、の3点とし、2014春闘方針を確立しました。

現在、正職員・契約職員の人事・賃金制度改定協議を進めております。したがって、今春闘では、正職員・契約職員の賃金・一時金に関する項目を春闘要求として掲げ、契約職員の安定雇用の実現、退職金制度の確立、福利厚生制度の格差是正、契約職員の年休・諸休暇の改善、再雇用嘱託職員の諸休暇の改善は、人事・賃金制度改定協議で改善を求めることとしました。

金庫は、収益の見通しを背景とした経営環境の厳しさを前面に出す交渉が想定されま

すが、すべての労金労働者の「総合的な生活改善」「安定雇用」「均衡・均等待遇」「公平・公正処遇」を実現し、雇用形態による格差を是正するため、全組合員が一致団結して闘います。

《青年層役員の檄》

【東北労組の仲間へ：北海道労組／大江真人青年部長】

2014春季生活闘争に向けて、日々のご奮闘に敬意を表します。

貴労組要求項目である、①『安定雇用の実現』に向けた「すでに雇用年数が3年を超え、無期契約を希望するすべての準職員・契約職員を対象に、期間の定めのない雇用への転換を金庫に申し入れる権利の付与」、②『公平・公正な処遇の実現』に向けた「退職金制度確立」は、当該組合員が特に希望する制度であると考えます。私たち北海道労組も当該組合員の声を聞き、複数年かけて要求を行ってきました。特に「退職金制度確立」については、昨年を引き続き今年度も要求として掲げています。

この要求項目を勝ち得ることで、すべての労金労働者が安心して働き続けることができる環境を構築し、まさに『安定雇用の実現』『公平・公正な処遇の実現』につながることを考えます。

全組合員の総意で決定した要求に自信と確信を持ち、すべての労金労働者の強い想いを力に、2014春季生活闘争を共に闘い抜きましょう！

※ 次号は3月7日（金）に配信予定です。

以 上